市民タイムス　令和３年（2021年）５月２９日　土曜日

ホームのブドウを手入れ

塩尻駅で作業 20人が汗

全国で唯一、駅のホームにブドウ園がある JR塩尻駅で28日、ブドウの木の管理作業が行われた。市や市観光協会、塩尻駅などでつくる塩尻駅観光施設設置協議会のメンバーやボランティアら約20人が、良質なブドウが育つよう願って作業に取り組んだ。

ブドウの枝を棚に固定する参加者

不要な芽をかき取る「芽かき」をした後、伸び始めた枝をブドウ棚に固定した。

JR東日本に入社し、4月に初めて作業に参加した小笠原小百合さん(29)は「ブドウの木が身近にあるのは新鮮。実がなるのが楽しみ」と話していた。

3・4番線のホームで、ナイヤガラとメルローの2種類計4本を栽培している。9月中旬に収穫して市内のワイナリーで醸造し、駅産ブドウのワインとして販売する。ナイアガラは観光PRにも利用する。（細野はるか）